

2026年冬期の摩周湖の全面結氷予測レポート
2026年1月1日時点での予測

北見工業大学
亀田貴雄

摩周湖の全面結氷日は2026年3月14日±7.0日（3月7日～3月21日）と予測する。ただし、1974年冬期から2023年冬期までの50年間の観測で摩周湖が最も遅く全面結氷したのは3月2日（2005年）のため、2026年冬期の摩周湖は全面結氷しない可能性が考えられる。

上記の予測方法と注意点を以下に記す。また、資料1～3として2025/26年の冬期、全面結氷になった2020/21年冬期、部分結氷だった2021/22年冬期の日平均気温の状況を示す。

1. 2024年夏の川湯の気温

2025年6月1日～8月31日の川湯の日最高気温の平均は26.1°Cであった。亀田ら（2022）の(4)式を用いると、摩周湖が冬期に全面結氷するのに必要な積算寒度（ T ）は867°C·dayとなる。

$$T = 38.3 \times 26.1 - 132.8 = 866.83 \approx 867$$

2022年の同じ期間の日最高気温の平均は21.78°C、2023年は24.33°Cであり、2024年は24.12°Cのため、2025年夏は例年よりも暑かった2023～24年と比べても一段と暑い夏であったことがわかる。このため、摩周湖の水温は例年よりも高くなっていると想定され、2026年冬期の摩周湖は全面結氷しづらくなっていると考えられる。

2. 2025/26冬の川湯の寒さ

2025年11月1日から2025年12月31日までの川湯の日平均気温の積算（積算寒度）は172.8°C·dayであった。亀田ら（2022）によると、255°C·day以上は寒い冬、180以上255°C·day未満は普通の冬、180°C·day未満は暖かい冬に分類しているため、2025/26年冬期は暖かい冬に相当した。

3. 全面結氷日の予測および注意点

亀田ら（2022）の表7c（暖かい冬用）の日数Bをみると、積算寒度867°C·dayに到達するのは1月1日から74.9日後であることがわかる（表7bでの積算寒度860と870の値で内挿）。予測日の誤差として表7bでの860°C·dayと870°C·dayの平均の±7.0日を用いると、摩周湖の全面結氷日は3月14日±7.0日（3月7日～3月21日）となった。

1974年冬期から2024年冬期までの51年間の観測で摩周湖が最も遅く全面結氷したのは3月2日（2005年）のため、2026年冬期の摩周湖は全面結氷しない可能性が考えられる。

一方、資料1に示すように、2025/26年冬期の気温は12月上旬から中旬は比較的寒かったが、12月中旬以降暖かかった影響で、全体としては暖かい冬の気温になっている。ただし、今後、寒さが戻り、川湯での日平均気温が-15°C以下の日が6日以上あると、亀田（2023）が報告したように、摩周湖は全面結氷する可能性も残っている。

引用文献

亀田貴雄、蜂谷衛、仁平慎吾、細川音治（2022）：摩周湖の全面結氷条件の解明およびそれに基づく2021年2月の全面結氷日の予測。雪氷、84(5), 68–88.

亀田貴雄（2023）：摩周湖の全面結氷日の予測－2023年の結果と2024年の予測－。陸水物理学
会会報－第44回研究発表会（2023新潟大会），11–12。

謝辞

このレポートでは気象庁が運営している川湯アメダスの日平均気温を使用した。アメダスを運営し、整備している気象庁に感謝いたします。

（本資料に関する問い合わせ先）

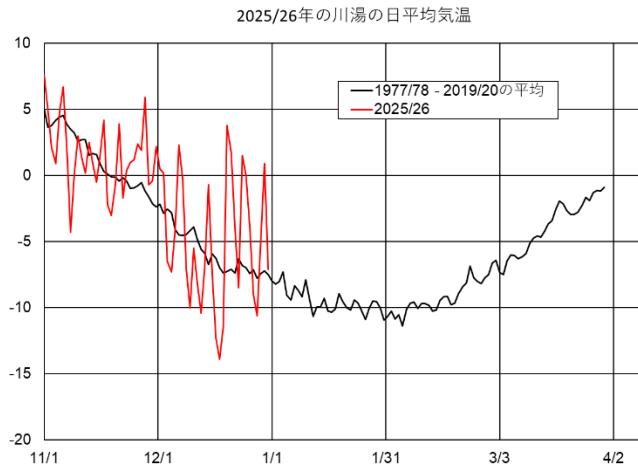
北見工業大学教授 亀田貴雄

電話：0157-26-9506

E-mail : kameda@mail.kitami-it.ac.jp

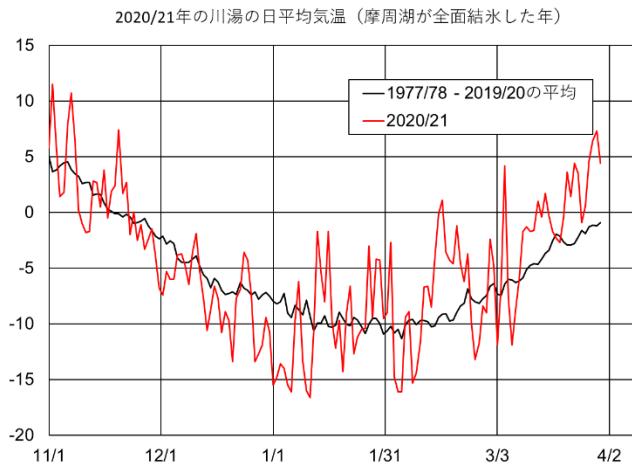
(資料 1)

2025/26 年冬期（赤線）と 1977/78～2019/20 年に平均値（黒線）との比較。2025/26 年冬期は 12 月上旬から中旬は寒かったが、12 月中旬以降は暖かかったことがわかる。



(資料 2)

全面結氷した 2020/21 年冬期（赤線）と 1977/78～2019/20 年に平均値（黒線）との比較。2020/21 年冬期は 12 月上旬から 1 月中旬および 2 月上旬に寒かったことがわかる。



(資料 3)

部分結氷した 2021/22 年冬期（赤線）と 1977/78～2019/20 年に平均値（黒線）との比較。2021/22 年冬期は 12 月中旬から下旬に寒い日があったが、全体的に暖かかったことがわかる。

